



大雨等に係る 鳥取県情報連絡会議

【日 時】令和7年6月26日(木)午前9時35分～

【場 所】災害対策本部室（県庁第2庁舎3階）

**【参加者】知事、副知事、統轄監、輝く鳥取創造本部、
危機管理部、福祉保健部、農林水産部、県土整備部、
鳥取地方気象台**

*** 各総合事務所はTV会議参加**

目的・次第

目的

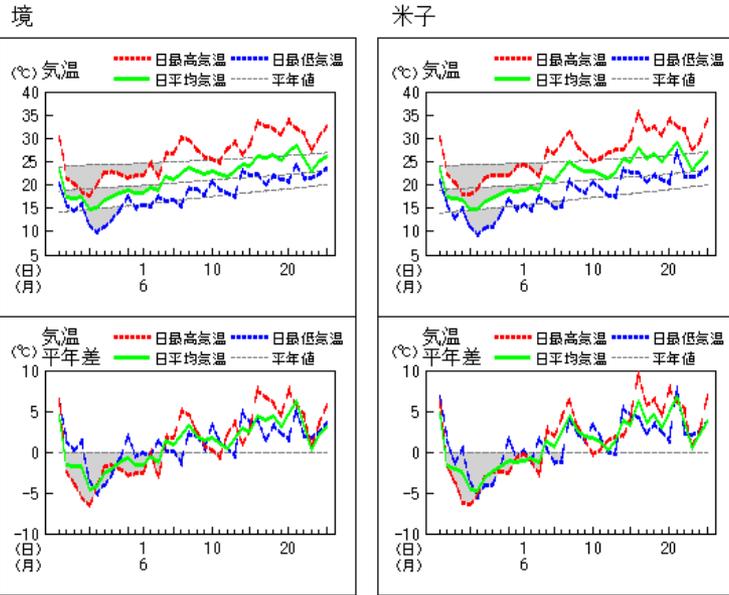
- ◆大雨及び来週以降の高温についての情報の共有、市町村・県民への注意喚起及び警戒・即応体制の確保を図る。

次第

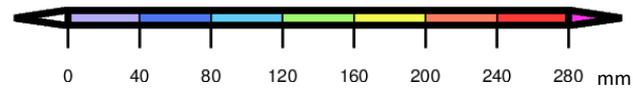
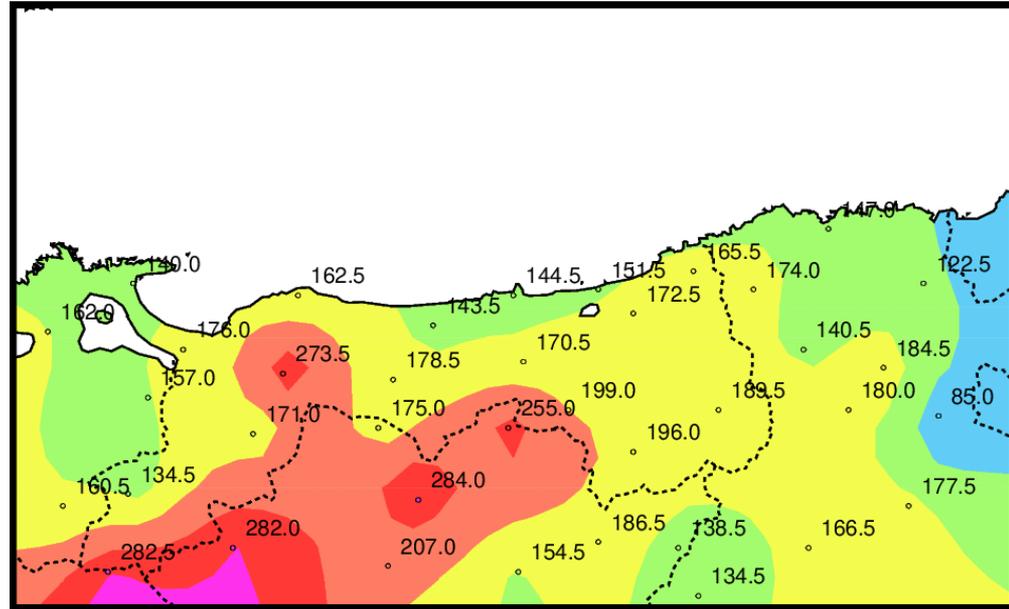
- ◆知事挨拶
 - 1 最新の気象状況及び今後の予測等（鳥取気象台資料）
 - 2 大雨に係る被害の概要
 - 3 高温についての注意喚起

6月の気象状況

気温の状況 5月21日~6月25日

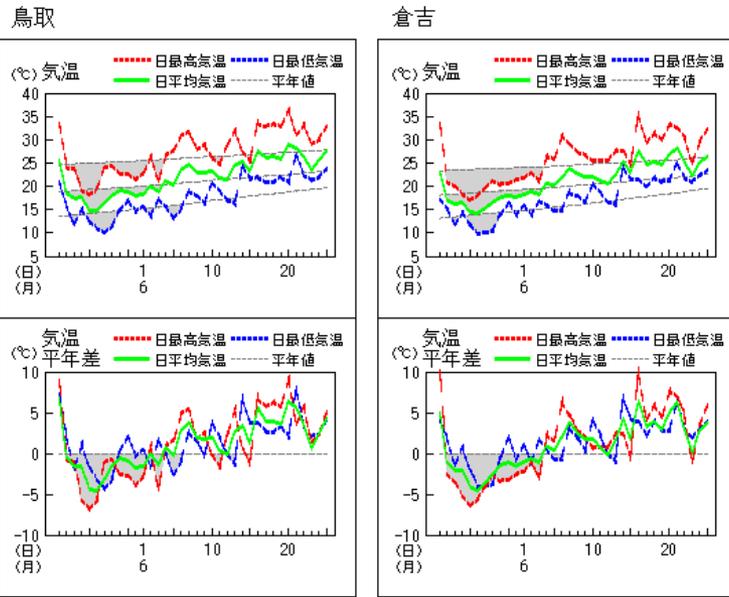


降水量の状況 6月1日00時~6月24日7時



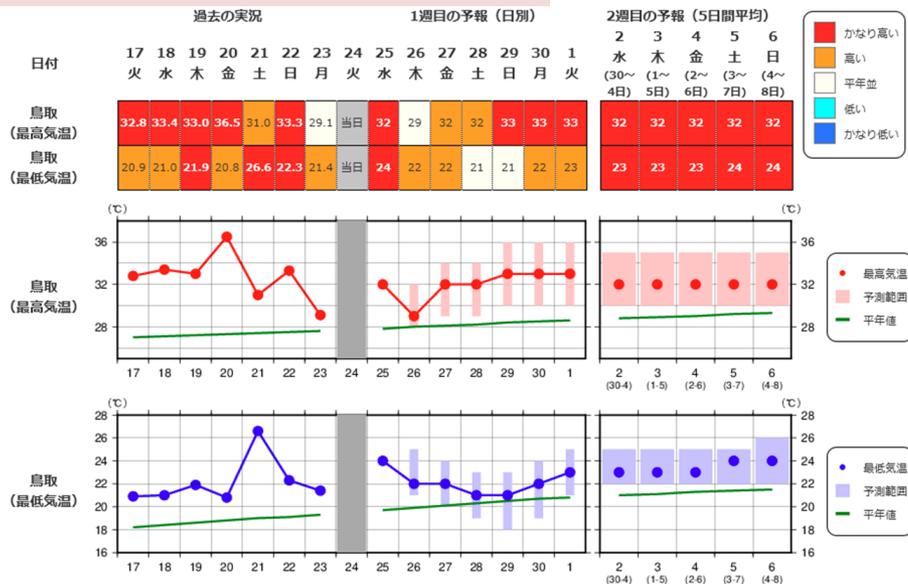
6月~7月の平年の降水量 (mm)

鳥取	米子	境
334.6	396.7	386.0



2週間気温予報・1か月予報

2週間気温予報(6月24日発表)



中国地方では、最近1週間は気温のかなり高い状態が続いています。
向こう2週間の気温も、暖かい空気に覆われやすいため、かなり高くなる見込みです。

1か月予報 6月21~7月20(6月19日発表)

		平均気温(向こう1か月)	降水量(向こう1か月)	日照時間(向こう1か月)
中国地方	山陰	低10 並10 高80% 高い見込み	少50 並30 多20% 少ない見込み	少20 並30 多50% 多い見込み
	山陽		少50 並30 多20% 少ない見込み	少20 並30 多50% 多い見込み
数値は予想される出現確率(%)です		平均気温(1か月) 	降水量(1か月) 	日照時間(1か月)

Probability scale: 低い確率(%) 50 40 40 50 高い確率(%)

大雨による被害の概要

○教育委員会

高校はJRの遅延により2校休校(鳥取工業、米子西)
小・中学校は調査中

○停電

令和7年6月26日午前1時～4時
米子市 約3,540戸(復旧済み)

○公共交通機関

JR山陰本線一部運休(その他遅延あり)
スーパーはくと2号(倉吉駅～鳥取駅)運休

大雨に係る被害情報の収集

○被害情報の収集

- 公共土木被害、農林水産被害を速やかに把握する。

○情報発信及び対策

- 被害が確認された場合は、その情報を適宜広報するとともに、必要な対策を検討。

今夏の天候の傾向と考えられる事象

- 今夏は高温となる傾向 ⇒目先の1週間は特に高い
- 降水量は夏期全体では平年並みの見込み
⇒現時点～向こう1ヶ月では小雨の状況

【考えられる事象・対応】

● 高温に対する対応

⇒県民の健康、農業などに影響

電力需給などに派生する可能性がある（cf：東京電力管内の状況）

⇒熱中症情報などの情報発信を実施中

関係部局等と連携しながら、県ホームページ（とりネット）、あんしんトリピーメール、あんしんトリピーナビ等で適宜、発信中

● 台風の襲来など

⇒昨夏のように台風の発生、発達地点が日本に近くなる可能性がある（発生後すぐに接近、日本近海で発達）

⇒南からの暖かく湿った空気の影響による大雨の可能性もある

熱中症の予防、対策について

○熱中症による救急搬送件数は89件(6/22現在)⇒昨年同期(86件)より3件増
重症事例は6件⇒昨年同期(2件)より4件増

○現在「熱中症警戒期間」発表中(6/27まで)⇒熱中症予防・対策を徹底

※熱中症警戒期間:向こう1週間概ね真夏日(30度以上)が3日以上続く場合に県が発表

・室内を涼しく、こまめな水分摂取、休憩

暑い日は活発に動いていなくても知らずに汗をかいています。喉が渴いていなくてもこまめな水分補給が必要です。喉の渴きに気づきにくい高齢者などは定期的な水分摂取が必要です。

・天気予報を確認！家族や地域で声かけを！

毎日の天気予報や暑さ指数などの情報を確認し、家族や周囲の大人が高齢の方、小さなお子さんへ積極的に声をかけるなどして、みんなで熱中症を防ぎましょう。

【主な取組み】

【高齢者】

・地域包括支援センターや、民生児童委員、中山間見守り事業者、高齢者施設事業者等の協力による独居高齢者や高齢者のみ世帯への注意喚起(戸別訪問、啓発物の配布)

【労働団体】

・鳥取労働局等関係団体による就労・作業される方への注意喚起→改正労働衛生安全規則(6/1施行)

事業者は、熱中症の疑いのある者の早期発見、事業所内連絡網の作成、医療機関搬送手順フロー作成等、重篤化を防ぐための整備が必要(義務)

・農協等による農作業従事者への注意喚起 ※暑さ指数(湿度・輻射熱・気温)による注意喚起

【学校】

・学校関係者等による児童・生徒への注意喚起

【その他】

・県政CMをリニューアル(好ましい行動に着目した注意喚起) など

【参考】熱中症による救急搬送状況(6/22現在速報値) 今年度の熱中症による救急搬送件数は89件(前年同期86件)

<傷病程度別>死亡0件、重症6件、中等症28件、軽症55件 <年齢区分別>高齢者57人、成人14人、少年17人、乳幼児1人

農林水産業への対応(大雨)

○6月23日からの大雨による農林水産被害は、大雨による水田及び農道の法面崩壊が西部において発生。

○引き続き状況について調査を行い、復旧支援へ迅速に対応。

(6月26日午前9時現在)

区分	状況
農作物	《詳細調査中》
農地・土地改良施設	・田の法面崩壊(1件、日南町) ・農道の法面崩壊(1件、日野町) 《詳細調査中》
林業関係	《詳細調査中》
水産関係	・大雨により、養殖場に濁水が流れ込みニジマス・イワナが酸欠死する被害が発生(倉吉市)



＜農道法面が崩落(日野町秋縄)＞

農林水産業への対応（高温等）

1 農業関係

○「高温等に対する農業技術対策(6/26)」を市町村、農協、農林局等を通じて生産者へ周知。

[連絡内容]・農作物、家畜の高温等の影響と技術対策について(水稲、果樹、野菜、花き、家畜)

[農作物等の状況と現場の対応]

水稲	田植えはほとんどの地域で終了し、現状、影響はでていない。節水栽培に努める。
梨	現時点で高温による生育への影響はみられず、果実肥大は平年並である。乾燥が続く場合、かん水や山草等マルチを呼びかける。
スイカ	計画の約45%が出荷終了し、糖度も高い。高温等による品質低下や日焼け防止のため、適量のかん水や施設への遮光等の対策を呼びかける。
白ネギ	夏ネギの約2割が出荷終了している。現在、高温等による生育遅れは見られていないが、定植直後のものについてはスムーズに活着するよう適切なかん水を呼びかける。
畜産	暑熱対策についてのマニュアルを全酪農家へ配布済み。酪農支援プロジェクト会議を6/6に開催し、関係者で暑熱対策を確認。

2 土地改良区・農業ダム関係

○農業用水の取水調整や節水について、日野川水系の市町村、土地改良区へ依頼済(4/24)。

○県内の農業用ダム貯水率は平年並みであり、現時点では営農に大きな支障は出ていない状況。

3 林業関係

○苗木の管理について、生産者団体を通じて生産者に適切な灌水等を指導し、現時点で概ね生育は順調。

4 水産関係

○漁船事故防止安全対策の周知徹底(6/16)のなかで、熱中症対策も漁業者に呼びかけ。

○養殖業においては巡回指導の中で、高水温に発症しやすい疾病対策など適切な飼育管理を呼びかけ。